

## 1. はじめに

旅行で初めて訪れる街では、その土地の歴史に興味を持つ人が多いのではないのでしょうか？私達が行ったアンケート調査によると、一般人 125 人中 110 人が「興味がある」と答えました。しかし、観光パンフレット等に基づいた固定観念的な観光ルートを進むだけでは、旅の楽しさが今ひとつ欠けてしまうと考えました。そこで、旅行者に自由な行動を促すことによって、探検心を掻き立てるような歴史観光を可能にするシステム「MAPHIS」を提案します。

## 2. システム概要

「MAPHIS」は図 1 に示すように、4 つの機能から構成されます。旅行者は訪れたい歴史スポットを選択し、MAPHIS が提示するヒントを頼りに街中を散策しながら、目的地を目指します(マフィサポ)。この時、目的地までのルートの詳細に指定しないことによって、自由な散策を促します。目的地の歴史スポットに辿り着くと、それに関する歴史解説が閲覧できます(マフィスト)。この解説情報は地域住民が登録することを想定しています(マフィレジ)。旅先で得た歴史情報と散策した軌跡は自動的に記録され、後で振り返ることができます(マフィップ)。

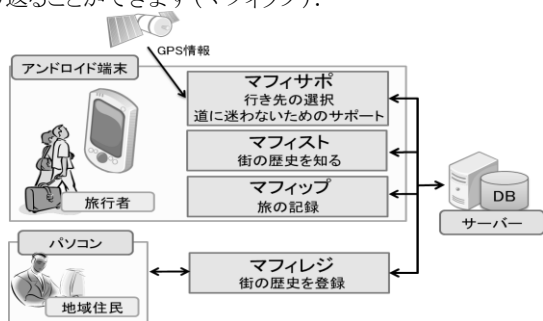


図 1. システム構成図

## 3. システムの機能

### 3.1 自由な散策の促し (マフィサポ)

MAPHIS では目的地の歴史スポットまでの詳細なルートをあえて表示せず、ヒントを与えるのみです。例えば、歴史スポットの画像をジグソーパズルの形で表示します(図 2)。街歩きを開始する時、歴史スポットとの距離に応じた数のピースが埋まっています。歴史スポットに近づくとピースが増

え、逆に遠ざかると減っていき、辿り着くとパズルが完成します。こうして感覚的に距離を掴むことができる一方、辿るルートには制限を付けず、自由な散策を促すことで、目的地の歴史スポットへ誘導することができます。

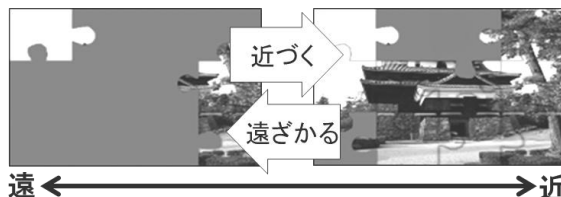


図 2. パズルのピースによる距離の遠近

### 3.2 寄り道の促し (マフィサポ)

目的地に至る散策途中の地図には、目的地と関連する他の歴史スポットが表示されます。そこに寄り道すると歴史解説を閲覧できます。目的地に至ることだけを目標とするのではなく、寄り道もしてみることで自然と街並みに目を向けることができます。

### 3.3 街の歴史を解説 (マフィスト)

歴史スポットに辿り着いた時、その場所の歴史解説を閲覧できます。街中で様々な歴史スポットを訪れることでポイントが溜まり、一定の数を満たすと地域住民のみが知る街の歴史も閲覧できます。教科書のように淡々と語られたものではなく、地域住民の視点で書かれています。

### 3.4 旅の記録 (マフィップ)

マフィストで得た歴史解説や歩いた軌跡は旅行後でも振り返ることができます。旅行者が訪れた街のみを地図上に表示することにより、一人一人独自の地図が形成されます(図 3)。



図 3. 街を歩くと拡大する地図

## 4. おわりに

MAPHIS を利用した旅行者が、様々な場所の歴史を発見することで、街を巡る楽しさを感じてもらえると幸いです。